

2023 年度教員養成講座報告書 V 「後期 開講式」

去る 11 月 1 日（水）、北部生涯学習推進センター研修室において、2024 年度実施の教員採用試験に向けた後期講座の開講式を行いました。次年度の教員採用試験の実施時期が前倒しとなり、例年より早めの開講式となりました。講座申込者 47 中 31 名が参加しました。現在の受講者は 50 名となっています。

開講式終了後は、本講座を受講し、今年度採用試験に合格した学生 2 人と一般受講者 4 人、計 6 人を招いて、合格までの学習法やモチベーション維持の体験等を紹介してもらいました。本講座の有用性を十分に認識し、自らの学び方を工夫し、日々の精励により、合格の切符を手にすることができたのだと納得させられる体験発表でした。引き続き、教科別に合格者を囲んだ情報交換を行いました。

この発表会は例年、現役生の学業との両立、一般の方の勤務先の業務とのやり繰りなど、並々ならぬ努力と自らの目標を見失うことなく教職を目指すという信念を感じさせてくれる貴重な発表会となっています。

今回の合格者も、昨年度の合格者の体験発表から強い刺激を受け、その激励を糧として必ずや合格を勝ち取るとの決意が述べられました。これから試験勉強に臨む学生や臨時的任用の教員の励みになる篤いメッセージを届けてくれました。

★ 印象に残ったメッセージ

- 来年度の教員採用試験に取り組む皆さまも、地道な努力を少しずつ積み重ねることで、きっと結果に結びつくと思います。**本日の開講式へ参加している時点で、合格に一步近づいていると信じて頑張ってください。**
- 来年から、私が理想とする教員になるために頑張ります！

★ モチベーション維持の仕方

- モチベーションは教員採用試験の勉強をしている友達を見て維持していました。何度か挫折しましたが、周りで頑張っている友達を見て、「自分もやらなければ」と気持ちを切り替えて取り組みました。また、とにかく「自分ならできると」信じて取り組み続けました。
- 朝から夜まで一人で勉強していると孤独に感じることもありました。そのため、何か勉強を頑張っている人たちのいる空間（図書館や SAKURAUM の 4 階等）で勉強するようにしていました。講座は、同じ教職という目標に向かって頑張っている仲間が集まっている場所なのでモチベーションをあげるには最適な場所だと感じていました。

★ 努力したこと

- 目標を達成するため、対策講座には毎回参加しました。対策講座では、1 回の講座で扱う問題の数がとても多かったため、予習や復習などを取り入れて同じ問題を何度も解くようにしました。教員採用試験の勉強では、1 日に覚えたことや学んだことを 1 枚のルーズリーフにまとめ、綴っていきました。自分が覚えたことが形として残るため、とても自信になりました。試験までの最後の 1 週間はこれを見直して試験に臨みました。
- 朝は暗記系の学習！（学習指導要領）・・・日頃起きている時間よりも 30 分早く起きる習慣を身につけ、指導要領をひたすら暗記をしました。（指導要領はとっても大事！！）講座の資料はとことん使う！
 - ・講座終わりは、図書館などにいき、講座で取り組んだ学習をもう一度自分で振り返る時間を作り、基礎などを積み重ねていきました。苦手科目は諦めずに、楽しい！と思うまで解きまくる！！
- 北部教員養成講座に参加することで、真剣に勉強に取り組んでいる友達や先輩を近くで見ることができ、自分も頑張ろうというモチベーションにもつながりました。また、やる気が出ない日も、講座に参加しているこの 2 時間だけは集中しよって決めてから取り組むことで勉強の効率もあがったと思います。
- 基本仕事の日は、定時退勤を基本とし、学業を優先に平日は過ごしました。定時退勤ができるよう、日々の教材研究などの業務は、休日の日曜日の午前中のみとし、一週間分の教材研究を休日に済ませ、残りの時間は、試験勉強に取り組むという体制を取りました。※終わりきれなかった分は、放課後の定時までの時間に取り組んだり、時間を無駄にしないような意識でやりました。

★工夫した勉強法

- 家で料理をするときや、お皿を洗っているとき、掃除をしているときに、教員養成大学の YouTube の一問一答を流していました。最初は全く分からなかったが、講座でやった問題が出たり、何回も動画を聞くことで、覚えていたり、答えられたりすると嬉しくなり、勉強に対してのモチベーションにもなりました。
- YouTube チャンネル「教員養成大学」を活用して、一般教養・教職教養の問題を学習。車で移動中、皿洗い中など。（目で覚える、耳で覚えるなど、自分に合う学習法を試す）付箋を目につく場所へ貼る 洗面台、トイレ、冷蔵庫など様々な場所へ 100 枚ぐらい貼り見る度に解いていた。
- 合格体験談の勉強法を参考にして勉強をはじめた。自分に出来そうな方法の良いところ取りをした。例えば…
☆「過去問を 6 周する」など。（私は 4 周しかできなかった。）
→問題横に正解は○、間違った問題には×、まぐれ正解自信のない問題には△の印。
→1 周目：全問 2 周目：全問 3～4 周目：指導要領と×△のみ 取り組む
- 時間管理アプリを使う iPhone：「集中|勉強・仕事のモチベーション」使用。アプリが面白くてきている。
→勉強時間を計測でき、勉強時間が視覚化できるためモチベーションになる。
- 講座は毎回参加／前の席に座る 席は、特に一般教養・教職教養では前方に座るよう心がけた。前の席は講師の方と距離が近いので集中力は確実に上がると実感。
- 模擬試験は全部受験 正直費用も掛かるし前半の試験は何も解けない状態でしたが、圧倒的に試験慣れしていないと自覚していたため、経験値だけでも上げる目的で受験。
- 家では集中できないことが多いので、夜は地元の友だちとテレビ電話をつなげて一緒に勉強していました。
- この目標を達成するため、対策講座には毎回参加しました。対策講座では、1 回の講座で扱う問題の数がとても多かったため、予習や復習などを取り入れて同じ問題を何度も解くようにしました。



写真 2023 年 11 月 1 日（水）合格者の体験報告会

＜受講者の決意＞

- ・現役合格して来年背中を見せたい。
- ・楽しい授業を作れる先生になる。
- ・貴重な話を沢山聞くことができたので今日からスタートする気持ちで頑張り抜きたい。
- ・一発で合格するという気持ちを持つ。
- ・来年は合格できるようにする。
- ・今回、15 年ぶりに教職復帰し、来年は絶対合格したい。
- ・必ず合格してお世話になった先生と一緒に働きたい。

■ 2023 年度後期教員養成講座受講者数（11/6 現在）

対象	受験教科							合計
	英語	養護教諭	保健体育	国語	小学校	美術	特別支援小学部	
学生	6	14	17		(1)			37(1)
一般	1	3	0	2	5	1	1	13
合計	7	17	17	2	6	1	1	50(1)

合格者の報告を受けて、次はわれらの番だという合格への熱意が感じられる開講式となりました。しかし、例年 2 年次のこの時期からの受講者もいますが、今年は 2 年次の受講者が 1 人しかいないことを心配しています。採用試験が年々早くなることが予想されることから、早期対策を開始する 2 年次受講者に呼び掛けたいと思います。

報告 2023 年 11 月 8 日（水）北部教育研修センター長 高安美智子